

宝塚第一小学校区地区防災計画

令和7年（2025年）5月

宝塚第一小学校区地区防災委員会
宝塚第一小学校区まちづくり協議会

目 次

1. 基本方針	1
2. 計画対象範囲と策定主体	2
3. 地区の特性と予想される災害	3
4. 活動内容	4～5
(1) 平常時の取組	
(2) 災害時の取組	
(3) 災害時配慮が必要な人等への支援	
5. 地区の災害時の活動体制および関連情報	6～7
(1) 情報伝達	
(2) 関連施設	
(3) 防災資器材等	
(4) 地区防災マップ	
6. 地区防災訓練の実施	8

1 基本方針

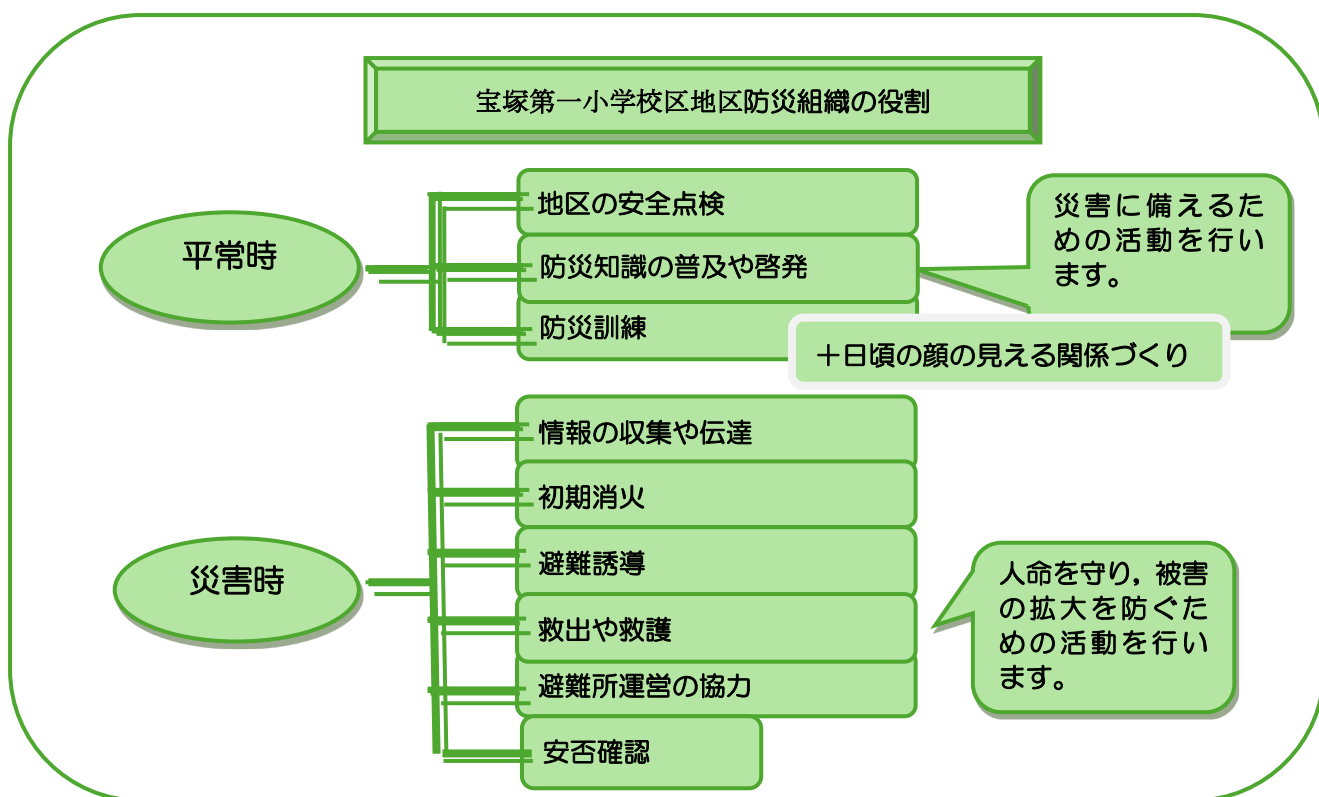
災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより市、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのような時、力を発揮するのが「地区ぐるみの協力体制」です。

実際に、阪神・淡路大震災の時には、地区住民が自発的に救出・救助活動を行い、多くの人命を救うとともに、その後の復興にも大きな力を発揮しました。

私たちの宝塚第一小学校区では、「自分たちの地区は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、災害にも強いまちづくりを進めます。

この取組を計画的に推進するため、2019（H31）年3月に「宝塚第一小学校区地区防災計画」を定めました。その後コロナ禍を経て、社会状況の変化や今後発災が危惧されている直下型地震や南海トラフ地震などの大規模広域災害に備え、自助・共助の役割の重要性が高まっています。以上を鑑みてより多くの方が取り組める防災計画となるように内容の見直しに至りました。

なおこのマニュアルでは基本的な防災計画をまとめるものとし、「避難所運営マニュアル」は別途作成するものとします。



2 計画対象範囲と策定主体

計画対象範囲：宝塚第一小学校区の全住民と諸団体

対象諸団体

1	アジュール自治会	28	宝塚市立宝塚第一小学校
2	逆瀬川	29	宝塚市立宝梅中学校
3	ザ・宝塚タワー	30	宝塚市立光ガ丘中学校
4	寿楽荘	31	甲子園大学（地域連携推進センター）
5	新寿楽荘	32	宝塚武庫山幼稚園
6	ダイアパレス宝塚月見山	33	宝塚南口幼稚園
7	宝塚	34	グループホーム アンジェリカ
8	宝塚南口	35	逆瀬川地域包括支援センター
9	宝塚宝南	36	障害者相談支援事業所 コミセン希望
10	長寿ガ丘	37	社会福祉協議会
11	月見台	38	民生児童委員
12	月見山	39	防災リーダー
13	月見山2丁目		
14	デ・リード宝塚リバビュー		
15	中州		
16	中州1丁目		
17	中州園		
18	西逆瀬川		
19	野上1丁目		
20	ヴィローゼ宝塚南口		
21	宝松苑		
22	宝南第一		
23	宝梅		
24	武庫山		
25	武庫山1丁目		
26	メロディーハイム宝塚		
27	紅葉ガ丘		

計画策定主体：宝塚第一小学校区まちづくり協議会

3 地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性

- ①六甲山東端の山麓部から 武庫川の間全体的には緩い傾斜地に家屋が多い地区である。
- ②山麓部に近い地域では土砂災害警戒危険区域に指定された場所がある。
- ③武庫川が過去に大雨で氾濫したことがある。
- ④集中豪雨などで周辺地区が浸水したことがある。
- ⑤地区内の活断層

国土地理院都市圏活断層図

https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/active_fault.html



宝塚市の活断層

<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1013056/1011509/1013061/1012344.html>



(2) 過去の災害

①阪神・淡路大震災

宝塚市 HP 災害アーカイブ 1995 年阪神・淡路大震災

<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1013056/1013225/1011510/1001475/1001630.html>



②風水害災害

宝塚市 HP 災害レポート

<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1013056/1001456/1013155/1054308/index.html>



(3) 予想される災害

兵庫県ハザードマップ

<https://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>

宝塚市防災マップ

https://www2.city.takarazuka.hyogo.jp/hazardmap/flow_01.html



4 活動内容

(1) 平常時の取組

・ いざという時に地域の力が発揮できるよう、地域みんなで防災意識を高めあおう	
【目的】	災害発生に備えた地域全体の体制の準備
【主な活動】	<div> <div>①防災知識の普及・啓発</div> <div>②地区の安全点検</div> <div>③防災資機材の整備</div> <div>④防災訓練</div> </div> <div> <div>地区防災委員会の開催（年1回以上）</div> <div>防災マップのデジタル化の推進</div> <div>防災マップの見直し、更新</div> <div>危険箇所の把握、共有</div> <div>・ 総合防災訓練の開催（年1回）</div> <div>・ LINE チャットボットを使った 安否確認訓練（年1回以上） 及び被災状況の収集訓練</div> </div>

(2) 災害時の取組

・ 様々な事態に対し、地域みんなが連携・協力して被害の軽減に努める	
【目的】	迅速な救出・救護活動により人的被害を最小限にする 安全の確保及び日常生活の支援
【主な活動】	<div> <div>①情報の収集・共有</div> <div>②救出・救助活動</div> <div>③初期消火活動</div> <div>④医療救護活動</div> <div>⑤避難所開設及び運営協力</div> <div>⑥給食・給水活動</div> </div>

(3) 災害時配慮が必要な人等への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障がい者、子どもなど、何らかの援助を必要とする人です。こうした人たちを災害から守るため、みんなで協力しながら支えあっています。

宝塚市災害時要援護者支援制度の活用や各自治会、管理組合をはじめとした住民みんなで支援していきます。

いざという時に円滑に支援ができるよう、日頃から積極的に近隣の人とのコミュニケーションを図ります。

5 地区の災害時の活動体制および関連情報

安否確認につとめる

(1) 情報伝達

- ①災害発生時は、宝塚市等からの情報を地域対策本部から、住民に伝達するようになります。
- ②無線通信機等も活用します

(注) 1. 災害情報：

- ・防災無線
- ・ひょうご防災ネット（宝塚市安心メール）：<https://bosai.net/takarazuka/>
- ・緊急速報メール：NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル
- ・エフエム宝塚災害情報：83.5 MHz

2. 宝塚市雨量情報システム：<https://takarazuka.tenki.ne.jp/#/>

3. 国土交通省 川の防災情報：<https://www.river.go.jp/index>



ひょうご防災ネット
(宝塚市安心メール)



宝塚市雨量情報収集システム



国交省 川の防災情報

(2) 関連施設

① 医療機関

種別	名称	住所	連絡先
救急指定医療機関	宝塚市立病院	小浜 4 丁目 5-1	0797-87-1161
〃	宝塚第一病院	向月町 19-5	0797-84-8811
〃	こだま病院	御殿山 1-3-2	0797-87-2525
〃	宝塚病院	野上 2 丁目 1-2	0797-71-3111
〃	東宝塚さとう 病院	長尾町 2-1	0797-88-2200

② 自治会館等

名称	住所	備考
西逆瀬川自治会館	社 1-8-8	
野上 1 丁目自治会館	野上 1-5	
宝会館	野上 4-1-17	宝南第 1、宝南、宝梅の 3 自治会 共同
宝塚公会堂	湯本町 4-12	宝塚自治会
武庫山ふれあい会館	武庫山 2-17-14	武庫山自治会（武庫山 1 丁目自治 会も利用）
月見台自治会館	月見山 1-16-10	月見台自治会
宝梅ハウス	宝梅 1-12-43	

(3) 防災資器材等

宝塚第一小学校体育館 2 階（ステージ向かって左側）にある、まちづくり協議会所有の資器材は臨機応変に使用します

(4) 地区防災マップ

一小校区の予想される避難所、防災倉庫等を示した防災マップを防災デジタルマップに示します。

各自治会・管理組合は この防災マップ等を使用して 総会や役員会を通じて住民の地区の災害に関する認識（地区の災害発生予想内容及び区域並びに避難経路等について）を深めることに利用します。



6 地区防災訓練の実施

災害発生時に、地区住民が「地区防災計画」に沿って適切な行動ができるよう、規模の大きい訓練等については 市や消防局等とも連携しながら、まち協が主体となって、次の項目の中から適宜選択した訓練を中心とした地区防災訓練・勉強会を毎年度実施します。

なお、防災訓練は避難所の一つである宝塚第一小学校（校庭、体育館）で行います。

- ① 机上訓練（啓発活動・学習会等）
- ② 実働訓練（避難訓練・救命救助訓練・水防訓練等）
- ③ その他（災害時要援護者等に関する対応策等）

訓練の実施後は、訓練結果を検証し次回訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直し、必要があれば「地区防災計画」の見直しを行います。